

(一社) 千葉県診療放射線技師会
第6回 東葛支部勉強会のお知らせ

主催：(一社) 千葉県診療放射線技師会東葛支部

後援：東葛画像研究会

東葛地域に勤務されている診療放射線技師を対象に、基礎を中心とした業務に役立つ内容で、年2回程度のシリーズで勉強会を開催しています。新人教育の一環として、また、中堅技師では基本の再確認として利用していただければよろしいかと思われます。

今回、第6回のテーマは“消化管検査”です。職場の皆さんと御一緒に、気軽に参加ください。

テーマ

“消化管検査における知っておくべき基礎知識と技”

開催日：平成27年9月12日(土) 13時00分～15時30分

場 所：鎌ヶ谷総合病院9F 大会議室

内 容：『消化管検査における知っておくべき基礎知識と技』

I 『みんなに知ってもらいたい！上部消化管撮影に必要な知識と技術』

鶴沼清仁 診療放射線技師 (東京山手メディカルセンター)

II 『CT-Colonographyにも役立つ！？精度の高い注腸X線検査の役割』

安藤健一 診療放射線技師長 (東京勤労者医療会 東葛病院)

参加対象：診療放射線技師

参加費：無料 (非会員 6回シリーズ通しで1,000円)

(※駐車場利用可 有料)

プログラム

13:00～13:10 開会のあいさつ

13:10～14:10 講義I 「みんなに知ってもらいたい！上部消化管撮影に必要な知識と技術」

14:20～15:20 講義II 「CT-Colonographyにも役立つ！？精度の高い注腸X線検査の役割」

15:20～ 閉会のあいさつ

※勉強会参加の会員には日本診療放射線技師会より生涯教育カウントが付与されます。

皆さんお誘い合わせの上、ご参加ください。

『みんなに知ってもらいたい上部消化管X線検査の知識と技術』

東京山手メディカルセンター 放射線部
鵜沼清仁

上部消化管撮影を行う目的は、大きく分けて2つあります。検診目的に行われる場合と治療法決定のために行われる場合（以下、精密X線検査）です。

検診目的で行われるX線検査は、近年では基準撮影法が確立し浸透してきております。そこで基準撮影の手順を簡単に説明したいと思います。また、「誰でも一定レベルの画像が得られる」がコンセプトの基準撮影ですが「より綺麗な画像が得られる技」をいくつか紹介したいと思います。

次に精密X線検査です。この検査の目的は存在がわかっている病変を詳細に評価し治療法を決定することにあります。しかしながら病変が存在しているとわかっているでも簡単に病変が描出でき評価できるとは限りません。そこで実際に当院で行われている精密X線検査動画を使って何例か紹介したいと思います。

『CT-Colonographyにも役立つ！？精度の高い注腸X線検査の役割』

東京勤労者医療会 東葛病院 放射線室
安藤健一

今日の大腸疾患の画像診断は、内視鏡診断・内視鏡治療の目覚ましい進歩により、大腸内視鏡検査がゴールドスタンダードとなっています。一方、注腸X線検査は様々な要因により、施設によって違いはあるものの、検査数が激減傾向であるのが現状です。

しかしながら、大腸疾患は、大腸癌やIBD(Inflammatory Bowel Disease)いわゆる炎症性腸疾患は増加傾向であり、大腸画像診断の重要性とその需要は益々高まるものと思われまます。

そして最近では新たなモダリティとしてCT-Colonographyが注目されてきています。

そうした中で、精度の高い注腸X線検査が実際の臨床の中でどのような役割を果たすことができるのかについて、当院の現状もふまえてお話します。